



下里中だより

令和 7年 4月16日
東久留米市立下里中学校

教育目標 ・知性を高めよう ・心身を鍛えよう ・広く思いやろう

新しいスタートに

校長 藤井 和重

麗らかな陽気と、桜が満開の4月8日に、87名の新入生を迎えて入学式を挙行了しました。つい2週間前には、堂々とした雰囲気の上級生として、小学校の卒業式に出席していた新入生ですが、中学校入学式では、皆さん堂々とはしてはいましたが、どこか不安な様子。私も参列させていただいた小学校の卒業式とは少し雰囲気が違います。でも……それは当たり前。当然です！！

何が始まるのか、どうなっていくのか分からない中学校生活のスタート。とても心配で不安だったと思います。しかし、その不安が新しい自分を発見する機会にもなります。同じ所で、ずっと同じ事をやっている。一番安心ですよ？ でも、それでは慢性化、マンネリ化が生じて前進することを妨げてしまいます。不安は大きいですが、新たなスタートは、心機一転した新しい自分に出会うことができます。

新しい学校での先生や友達との出会い。同じ小学校や習い事での顔なじみがいると、ほんの少し安心材料となりますが、進級した2年生・3年生も、入学時には同じ事でも不安を抱えていました。

これから何回も経験する、新しい環境で『新しい人間関係』を作るためには、集団の中で、「どう行動したらよいのか？」「自分には何ができるのか？」を自覚していることが重要となります。この先、自分はどうなるかと不安は大きいと思いますが、この気持ちちは、みんな一緒。あなただけではありません。困ったときは先生方や先輩たちに、質問や相談をしてください。2年生・3年生の皆さんも、困ったときには、大いに先生方を頼ってください。

さて、この学校だよりをお読みの保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に、ご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今年度の下里中は、チャレンジクラスの開設にともない教員増となり、年度末の定期異動を含め、新たな体制で学校運営を進めて参ります。保護者・地域の方々には、ご協力をお願いすることも多いかと思いますが、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

目指す学校像

※学校経営計画からの一部抜粋です

『伸び伸び さわやか 下里中』を目指し、下記に具体的な学校像を示す。

- (1)生徒一人一人を大切にし、良さを伸ばし、生き生きと活動できる学校
- (2)生徒と生徒、生徒と教職員が相互に信頼する温かい学校
- (3)保護者や地域から信頼され、安心して生徒を任せられる学校

そのためには、生徒を第一に考え、以下の3点を進めていく。

- ア すべての生徒に教育愛をもって生徒理解に努め、指導に当たる。
- イ 保護者・地域との協力・連携を深め、丁寧に対応していく。
- ウ 指導力の一層の向上を図るため、研修に努める。